

導入検討の進め方(必要な調査)

概要とポイント・留意点

下水道事業における公共施設等運営事業の実施に関するガイドライン(R4.3 国土交通省)、
下水道管路施設の管理業務における包括的民間委託導入ガイドライン(R2.3 国土交通省)をもとに作成

- PPP/PFIの導入検討では、以下のような調査が行われることが多い。

【導入可能性調査(FS)】

- 対象となる事業を管理・更新一体マネジメント方式(レベル3.5)として実施した場合、サービス水準の向上の見込みがあるか、民間の参入意欲がどの程度か、VFM(従来の公共事業とPFIを比較した場合の総事業費の削減率)シミュレーションの検証等から総合的に評価し、管理・更新一体マネジメント方式(レベル3.5)の導入の可能性を判断するもの
- 具体的には、事業方式、事業範囲、事業期間等を設定し、VFMシミュレーション、民間事業者へのヒアリング等を行う

【デューデリジェンス(DD)】

- 管理・更新一体マネジメント方式(レベル3.5)を実施した場合におけるVFMの算出、事業スキームの検討に必要な情報を整理するもの
- 民間事業者が投資意思決定の判断にあたって根拠とする下水道施設や機器等の健全度等の資産に関する情報を整備すること

【マーケットサウンディング(MS)】

- 事業・業務に対する民間事業者の参入意欲等を地方公共団体が把握するために実施する調査
- 民間事業者に対するアンケート調査、対話等の形式により、より民間事業者が参入しやすくすることを目的とする